



あいじつ



開校145周年

自分を見つめる～多様性と思いやり～

副校長 福成 利之

先日の学校公開日には、たくさんの保護者・地域の方々にお越しいただきました。ありがとうございました。もうすぐ前期の通知表が、一人一人に渡されます。どんな成長があって、どこをもっとがんばるか「自分を見つめる」よい機会となります。ぜひ、学校公開の様子も振り返りながら、残り半年の今年度の目標を話し合ってみてはいかがでしょうか。

さて、9月に行われた世界陸上は、東京そして私たちの新宿にある国立競技場で開催されました。身近な新宿で世界の人々が集まり、競い合う素晴らしい大会となりました。

日本選手はもちろん、外国の選手も、日本のアニメのポーズをスタート前にするなどして大会を盛り上げていたことも印象に残っています。陸上という競技としての素晴らしさはもちろんですが、「多様な価値観」や「多様性」をもつ様々な国が一体となって称え合ったり、盛り上がったたりする姿に感動しました。また、本気で取り組む様子や負けて悔しがったり、勝負した相手を思いやったりする様子など、競技の場面以外でも注目すべきところがあると感じました。

学校や学級の中ではどうでしょうか。一人一人、みんな違います。顔も違えば、性格、育った環境も違います。違うことが当たり前のことです。その当たり前の「多様性」や「個性」を受け止められているでしょうか。つい、相手のいやなことに目がいいますが、違うことの「当たり前」に気づき、少し角度を変えれば相手のよさにも気づくはずです。様々な「個性」をもった子どもたちが、互いのよさを認め合い、関わり合って、相手を「思いやり」、毎日を過ごしてほしいと思います。また、「自分を見つめる」ことで、自分のよさにも気づき、自分も大切にしてほしいものです。

これから、スポーツフェスタ、音楽会、校外学習や日々の学校生活の中で、お互いの「多様性」を認め合い、「思いやり」をもち関わり合うことで、さらに成長してくれると期待しています。

愛日スタンダードについて

生活指導主任 神立 清文

私達は家庭や学校、地域といった、様々な「社会」の中で、周囲の人たちと関わり合いながら生活しています。小学校では6歳から12歳までの幅広い年齢層の児童が生活しています。皆が安全で安心して過ごすために“きまり”があり、それを皆が守ることが大切です。学校では学活や道徳の時間を使い、様々な角度から“きまり”を守っていくことの大切さ、規範意識を育てています。

「愛日スタンダード」には、
・登下校 ・持ち物 ・生活 ・遊び ・学習
の内容が書かれています。各学級でも「愛日スタンダード」の確認をしています。ご家庭でも折をみて、お子様と一緒に確認をお願いします。

145周年記念愛日スポーツフェスタについて

体育主任 富樫 孝太郎

今年度のスポーツフェスタは、11月1日(土)に実施します。昨年度同様、1・3・5年生は団体競技、2・4・6年生は表現運動を行います。全員で一つの競技に一生懸命に取り組む姿や心を合わせて演技に取り組む姿を保護者の方々や地域の方々にもご覧いただきたいと思います。

今年度は校舎内からも他学年の演技・競技を観覧いただけます。また、全児童校庭に降りて観戦するため、より一体感のあるスポーツフェスタになります。

スポーツフェスタ期間中スポーツドリンクも可能です。水筒や着替え、汗拭きタオルの準備をお願いします。